

## 環境モニタリング結果の解析について（詳細）

（平成 27 年 10 月 6 日～平成 27 年 10 月 12 日公表分）

平成 27 年 10 月 14 日  
原子力規制委員会

『総合モニタリング計画』に基づき、関係機関が実施し、平成 27 年 10 月 6 日～平成 27 年 10 月 12 日に公表されたモニタリングの結果は以下のとおりです。

なお、ここでのモニタリングとは、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故後に、日本の環境中の放射性物質濃度がどのように変化しているかを継続的に測定しているものです。

### I. 福島県全域等の環境（陸域、海域）モニタリング結果

#### 1 空間線量率

- 東京電力株式会社福島第一原子力発電所 20km 圏内のモニタリングポストによる空間線量率は、全体的には減少傾向にあるものの、比較的高い空間線量率で推移しています。（下記参考 URL 参照）
- 東京電力株式会社福島第一原子力発電所 20km 圏外のサーベイメータ、モニタリングポストによる空間線量率及び積算線量計による 1 週間の積算値は特別の変化はなく、以前と同様に局所的に  $1\mu\text{Sv/h}$  を超える高い空間線量率が観測されている箇所が認められます。（参考資料 1～10 ページ及び下記参考 URL 参照）

#### ○参考 URL

東京電力福島第一、第二原子力発電所周辺及び福島県のモニタリングポストの測定結果

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

**以上、空間線量率については、全体的に減少傾向にあります。前回と比較すると特別の変化はありませんでした。**

#### 2 環境試料（土壌）の放射性物質濃度

- 東京電力株式会社福島第一原子力発電所 20km 圏外の土壌の放射性物質濃度（平成 27 年 9 月 14 日、15 日に採取）に含まれる放射性セシウムの最高値（Cs-137）は、63,000Bq/kg でした。（参考資料 11 ページ参照）

**以上、環境試料（土壌）の放射性物質濃度については、前回と比較すると特**

## 別の変化はありませんでした。

### 3 海水の放射性物質濃度

#### (1) 海水

- 東京電力株式会社福島第一原子力発電所近傍の海水  
平成27年10月4日～7日に採取した海水に含まれる放射性セシウムの最高値 (Cs-137) は、1.1Bq/L であり(参考資料15 ページ参照)、濃度限度(注1)を下回っていました。※1  
平成27年8月17日、9月14日に採取した海水に含まれる放射性セシウムの最高値 (Cs-137) は、0.480Bq/L であり(参考資料28 ページ参照)、濃度限度(注1)を下回っていました。※2  
平成27年9月28日～10月6日に採取した海水に含まれるH-3は、検出下限値未満(<2Bq/L)でした。(参考資料14、16 ページ参照)※1  
平成27年8月17日、9月14日に採取した海水に含まれるH-3の最高値は、1.1Bq/L であり(参考資料28 ページ参照)、濃度限度(注1)を下回っていました。※2  
平成27年7月21日、8月17日に採取した海水に含まれるSr-90の最高値は、0.76Bq/L であり(参考資料28 ページ参照)、濃度限度(注1)を下回っていました。  
平成27年10月4日～7日に採取した海水に含まれる全β(蒸発乾固法)の最高値は、13Bq/L でした。(参考資料15 ページ参照)※1  
平成27年8月17日、9月14日に採取した海水に含まれる全β(鉄バリウム共沈法)の最高値は、0.19Bq/L でした。(参考資料28 ページ参照)※2  
※1:東京電力によるモニタリング、※2:福島県によるモニタリング
- 東京電力株式会社福島第一原子力発電所周辺の海水  
平成27年8月17日、9月14日に採取した海水に含まれる放射性セシウムの最高値 (Cs-137) は、0.31Bq/L でした。(参考資料29 ページ参照)※1  
平成27年9月1日、2日に採取した海水に含まれるH-3は、検出下限値未満(<0.4Bq/L)でした。(参考資料19 ページ参照)※2  
平成27年8月17日、9月14日に採取した海水に含まれるH-3の最高値は、0.47Bq/L でした。(参考資料29 ページ参照)※1  
平成27年9月1日に採取した海水に含まれるSr-90は、検出下限値未満(<8mBq/L)でした。(参考資料19 ページ参照)※2  
平成27年7月21日、8月17日に採取した海水に含まれるSr-90の最高値は、4mBq/L でした。(参考資料29 ページ参照)※1  
平成27年9月1日、2日に採取した海水に含まれる全β(蒸発乾固法)は、検出下限値未満(<20Bq/L)でした。(参考資料19 ページ参照)※2  
平成27年8月17日、9月14日に採取した海水に含まれる全β(鉄バリウム共沈法)の最高値は、0.03Bq/L でした。(参考資料29 ページ参照)※1  
平成27年9月1日に採取した海水に含まれる全αは、検出下限値未満(<2Bq/L)でした。(参考資料19 ページ参照)  
※1:福島県によるモニタリング、※2:東京電力によるモニタリング

- 宮城県・福島県・茨城県・千葉県沖の海水  
平成 27 年 8 月 2 日～8 日に採取した海水に含まれる H-3 の最高値は、  
0.093Bq/L でした。(参考資料 32 ページ参照)

**以上、海水の放射性物質濃度については、全体的に減少傾向にあります、前回と比較すると特別の変化はありませんでした。**

#### 4 地下水の放射性物質濃度

- 福島県内の地下水  
平成 27 年 7 月 1 日～8 月 20 日に採取した地下水に含まれる放射性セシウム及び放射性ストロンチウムは、いずれも検出下限値未満(Cs-134:<1Bq/L、Cs-137:<1Bq/L、Sr-89:<1Bq/L、Sr-90:<1Bq/L)でした。(参考資料 39～42 ページ参照)

**以上、地下水の放射性物質濃度については、前回と比較すると特別の変化はありませんでした。**

## II. 全国のモニタリング結果

### 1 空間線量率

- 全国の空間線量率については、下記の URL にて測定結果が公表されています。

全国の測定結果

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

なお、全国の既設のモニタリングポストの所在地は、下記の URL をご参照ください。

[http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/1000/211/0/Location\\_and\\_GPS\\_data\\_of\\_monitoring\\_posts\\_in\\_47\\_prefectures.pdf](http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/1000/211/0/Location_and_GPS_data_of_monitoring_posts_in_47_prefectures.pdf)

**空間線量率については、概ね事故以前の水準で推移しており、特別の変化もありませんでした。**

### 2 月間降下物

- 平成 27 年 8 月の広島県における放射性物質の降下量における放射性セシウムは、検出下限値未満でした。なお、福島県、広島県を除く 45 都道府県については、公表済みです。(参考資料 53 ページ参照)

**以上、月間降下物については、全体的に減少傾向にあります、前回と比較すると特別の変化はありませんでした。**

### 3 地下水の放射性物質濃度

- 岩手県、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県及び千葉県の地下水  
平成 27 年 6 月 22 日～25 日に岩手県で採取した地下水、平成 27 年 6 月 25

日～30日に宮城県で採取した地下水、平成27年6月18日～26日に茨城県で採取した地下水、平成27年6月16日～24日に栃木県で採取した地下水、平成27年6月16日～7月29日に群馬県で採取した地下水及び平成27年6月16日～29日に千葉県で採取した地下水に含まれる放射性セシウムは、いずれも検出下限値未満(Cs-134:<1Bq/L、Cs-137:<1Bq/L)でした。(参考資料35～37、44～50 ページ参照)

**以上、地下水の放射性物質濃度については、前回と比較すると特別の変化はありませんでした。**

### III. その他のモニタリング結果

#### 1 食品等のモニタリング結果

下記の URL をご参照ください。

食品中の放射性物質への対応について

[http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/shokuhin.html](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

水産物の放射性物質調査の結果について

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html>

酒類等の放射能分析結果について

<http://www.nta.go.jp/shiraberu/senmonjoho/sake/anzen/radioactivity.htm>

水道中の放射性物質濃度について

[http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/suidou.html](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/suidou.html)

#### 2 【参考】：東京電力福島第一原子力発電所の港湾内のモニタリング結果

- 東京電力株式会社福島第一原子力発電所港湾内の海水  
平成27年10月5日～11日に採取した海水に含まれる放射性セシウムの最高値 (Cs-137) は、17Bq/L でした。  
平成27年10月5日～11日に採取した海水に含まれる全β (蒸発乾固法) の最高値は、1,500Bq/L でした。  
平成27年9月28日、10月5日に採取した海水に含まれるH-3の最高値は、2,300Bq/L でした。  
平成27年9月7日、16日に採取した海水に含まれるSr-90の最高値は、580Bq/L でした。  
平成27年10月5日～11日に採取した港湾口付近の海水に含まれる放射性セシウムの最高値 (Cs-137) は、1.8Bq/L でした。  
平成27年10月5日～11日に採取した港湾口付近の海水に含まれる全β (蒸発乾固法) の最高値 (Cs-137) は、16Bq/L でした。  
平成27年10月4日～10月10日に採取した港湾口付近の海水に含まれる

H-3 の最高値は、2.5Bq/L でした。

平成 27 年 9 月 7 日、16 日に採取した港湾口付近の海水に含まれる Sr-90 の最高値は、1.2Bq/L でした。

○参考 URL

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

(注 1)

法令に定める周辺監視区域外の水中の放射性物質の濃度限度

I-131 : 40Bq/L、Cs-134 : 60Bq/L、Cs-137 : 90Bq/L、Sr-90 : 30Bq/L、H-3 : 60、000Bq/L

法令に定める周辺監視区域外の空気中の放射性物質の濃度限度

I-131 : 5Bq/m<sup>3</sup>、Cs-134 : 20Bq/m<sup>3</sup>、Cs-137 : 30Bq/m<sup>3</sup>